教科目名　倫理（Ethics）

学科名・学年　：全学科　２年
単位数など　：必履修　２単位（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）
担当教員　：堀　栄造

授業の概要

古代から現代へ至る西洋思想および東洋思想の基礎を学び，物事を深く考える力を養い、学んだ知識が自らの人生観や世界観の形成の糧となるように授業を展開する．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(A1)・(A2)，JABEE 目標(a)・(b)**

（1）先哲の思想に学びながら，物事を根本的に見つめる眼を養う．（定期試験）
（2）自らの人生について考え，自らの生き方を築いていこうとする姿勢を身に付ける．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	哲学・思想とは何か 自然哲学者たち ソフィスト ソクラテス プラトン アリストテレス キリスト教	○ミレトス学派やエレア学派の自然哲学について理解できる ○知徳合一，イデア論，形相と質料について理解できる ○キリスト教の教義の基礎について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 キリスト教 イスラム教 仏教 儒教 道教 近代的なものとは	○イスラム教，仏教の教義の基礎について理解できる ○儒教，道教の教義の基礎について理解できる ○近代的なものの意味について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	デカルト ベーコン ホッブス ロック ルソー カント カント	○意識の主題化について理解できる ○自然の技術的支配という思想について理解できる ○社会契約論について理解できる ○理論理性と実践理性に関する理性批判について理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　　点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 実存主義とは キルケゴール ニーチェ ハイデガー サルトル ヤスパース	○実存主義について理解できる ○単独者や超人について理解できる ○ニヒリズムについて理解できる ○現存在分析について理解できる ○自由と責任について理解できる ○限界状況について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	しっかり復習すること．	【総合達成度】
教科書	松島隆裕　編，『哲学・倫理学概論』，学術図書出版社．	
参考図書		
関連科目	哲学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科２年），哲学概説（５年），思想史（５年）．	
総合評価	定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　　点